

弘前大学資料館第 40 回企画展

弘前大学農学部創設 70 周年記念 第 2 代学長 郡場 寛 特別展

津軽が生んだ植物学者・郡場 寛

～弘前とシンガポールをつなぐ郷土の偉人～

会期：令和 7 年 10 月 14 日（火）～ 12 月 19 日（金）（日曜・祝日休館） 時間：10:00～16:00（入館 15:30 まで）
10 月 19 日（日）総合文化祭にあわせ特別開館。10 月 24 日（金）午後～ 25 日（土）臨時休館。

会場：弘前大学資料館（教育学部棟 1 階） 入場無料

弘前ゆかりの植物学者 郡場寛（1882～1957 年）は、1942 年に陸軍司政長官として日本統治下のシンガポールに赴任し、シンガポール植物園長としてイギリス人である元園長らに研究を続けさせたほか、資料の散逸を防ぐなど、植物園を戦禍から守り抜き、シンガポールでは今もなお、その功績が語り継がれています。帰国後、1954 年に弘前大学第 2 代学長に就任し、農学部の創設に尽力しました。また弘前公園の管理方法に助言をするなど、弘前大学や弘前市の発展に大きく貢献しました。

郡場が守り抜いたシンガポール植物園は、2015 年に世界文化遺産に登録され、また、弘前公園は弘前市を代表する名所となるなど、郡場は弘前とシンガポールをつなぐ郷土の偉人です。

本展示では青森県立郷土館、弘前大学収蔵の郡場ゆかりの品々を展示し、業績を紹介します。

【展示構成】

- ① シンガポール植物園（当時：昭南植物園）との関わり
野帳、原稿、昭南植物園案内、E. J. H. コーナー博士との交流
- ② 生い立ち、植物学者として、趣味人として
郡場フミ採集標本、タイプライター、旅行鞆、ヴァイオリン、笛
- ③ 弘前大学、弘前市との関わり
- ④ 文京町キャンパスのメタセコイア



農学部昇格祝賀記念撮影（1955 年 11 月）
前列中央 郡場寛



郡場使用のタイプライター
青森県立郷土館資料



フィールドノート
青森県立郷土館資料



郡場愛用のバイオリン
青森県立郷土館資料

主催：弘前大学農学生命科学部・弘前大学資料館・弘前市・青森県立郷土館
担当：東 信行・本多和茂・中村剛之（農学生命科学部）



弘前大学資料館

Tel. 0172-39-3432 E-mail: jm3432@hirosaki-u.ac.jp
<https://shiryokan.hirosaki-u.ac.jp/>

写真：現在のシンガポール植物園 Singapore Botanic Gardens